



3年社会（公民） 授業レポート

単元名：国の政治のしくみ

ねらい：国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることを理解することができる。

1 前時の復習

大型電子黒板（画像提示）

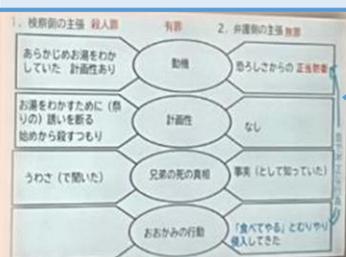


本時では物語『三匹の子ぶた』の三番目の子ぶたの裁判を想定し、課題を「裁判員制度の模擬体験をして、裁判所の役割を説明できるようにしよう」と設定しました。

本時の課題を確認する際、裁判員制度による刑事裁判の様子を表した画像を大型電子黒板に提示し、前時に学習した裁判員制度のしくみについて復習しました。

2 視点の確認

大型電子黒板（思考ツール）



前時に思考ツールを活用してまとめた、判決を下す際の拠り所となる4つの視点「動機」「計画性」「兄弟の死の真相」「おおかみの行動」を、大型電子黒板に提示しました。話し合いの際に、事実を捉え直すことができるように、4つの視点で整理した検察側と弁護側の主張について再確認しました。

3 考えの共有・話し合い

刑法36条の「急で不正な攻撃」だから、正当防衛で無罪だと思う。



計画性が見られる。有罪ではないかな？

ムーブノート

事実認定の場面で、多様な視点から事件について考えることができるように、ムーブノートを用いて学級全員の考えを共有しました。

各班では、安易に判決を下すことがないように、画面上にある意見について根拠や理由を確認し合いながら検討を深めました。このような対話活動をとおして、公平な裁判の有用性や難しさに気付くことができました。

4 班の考えのまとめ

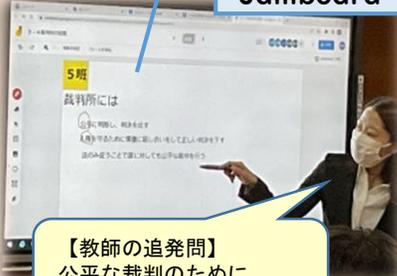


Jamboard

判決を下した体験を基に、裁判所の役割について班で話し合いました。

各自で教科書、資料集、インターネットなどで調べたことを根拠に裁判所の役割をワークシートに記入し、Jamboardを用いた対話をとおして班全体の考えをまとめました。

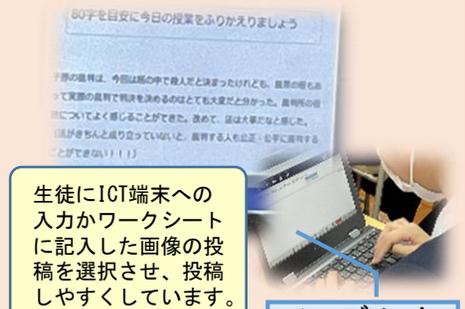
5 学級全体での共有



【教師の追発問】
公平な裁判のために何が大事なのでしょう。

裁判所の役割について、各班のJamboardの画面を大型電子黒板に提示し、学級全体で考えを共有しました。各班の内容について「公平な裁判のために何が大事なのでしょう。」などと教師が追発問しながら、生徒の考えを深めました。

6 振り返り



生徒にICT端末への入力かワークシートに記入した画像の投稿を選択させ、投稿しやすくしています。

ムーブノート

最後に、本時についてムーブノートに振り返りを投稿しました。意図的指名により数名の生徒が振り返りを発表することで、裁判所の役割や裁判員制度の意義について全体でも気付くようにしました。実際の裁判で公正に判断し判決を下すことの大変さや、判決の拠り所となる法の大切さについて改めて気付くことができました。